

二、情報出版企業として

① 資生堂デザインフォーラム(上)
「口紅から地球まで」

コンピュータ化をスタートした平成三(一九九二)年、G・ストリーターという若くてハンサムなアメリカ人と出会った。彼は、バブル当時若者の熱狂的な支持を集めていた都心のデイスコや郊外の大規模ショッピングセンター等の娯楽施設の設計や運営ノウハウに実績があった。彼を起用して「エンタテインメントファシリティーブランドナー養成フォーラム91」と題するセミナーを平成三(一九九二)年三月開催した。企画にあたって青山学院大学の坂井幸三郎教授(日本イベントプロデュース協会前理事長)に相談した。教授は、自ら講師を引受けるとともに、講師の一人として資生堂の○○○氏を推薦された。セミナーそのものは大成功とまではいかなかったが、従来の理工系セミナーとは異なるジャンルへ発展するきっかけとなった。

セミナー終了後しばらく経ったころ、○氏から電話をいただいた。主旨は「こんど、資生堂がイベントグループを設立することにになったが、その立ち上げのイベントを企画しないか」というものだった。資生堂のブランドイメージに合うこと、及び事業として行なうこと以外は特別な条件はなかった。いくつか提案した中で「女性とデザイン」をテーマとした企画が採用された。(デザイン)をテーマに選んだのは学生時代の縁でもあるが、当時産業界には女性の感性をモノづくりに反映しようという気運があり、企業内に女性

を中心とした製品開発グループが続々と生まれていた状況を反映した企画だった。「第一回資生堂デザインフォーラム(女性のためのインダストリアルデザイン講座)「口紅から地球まで」」は平成三(一九九二)年十二月〜四年三月にかけて実現した。当初、デザインといういわば(文化)イベントにいくらの定価をつけるかで資生堂との間で随分話し合った。理工系セミナーの経験がなければ六回とはいえない一万円という高額な設定はできなかっただろう。事業とはいえず資生堂内の抵抗は大きかったが、このとき社内調整にあたったのがイベントグループの○○○氏(現同社秘書室、東京ファッション協会へ出向中)だった。以後、○○氏とはデザインフォーラム終了までの約六年にわたって二人三脚で同フォーラムを推進していくことになった。

キャッチコピーの(口紅から地球まで)は、煙草、ピースのデザインで日本でもなじみの工業デザイナーレイモンド・ロイの著書「口紅から機関車まで」をもじったものである。当時産業界の最大関心事だった商品差別化の武器としての(感性)と(エコロジー)の二つのキーワードを象徴的に表現したわけである。企画構成は、商品開発のための社会科学的視点を六つに整理して提案するものだった。要約すると、第一講エルゴデザイン(やさしさ)を科学する、①女性デザイナーに求められるもの、②感性を測る、③生活に根ざしたライフスタイルへの提案、第二講エコデザイン(緑の社会をつくる)④エコロジカルな仕組み作り、⑤モノを作ることと測ることの不確かさ、第三講デザインコンセプト(思想・創造・構想)⑥女性のクリエイティブパワーを生かす、以上計六日間、六回での提案だった。心配された集客は、最終的には予想を上回る百五十

名ほどを集めての大成功だった。時代の空気にマッチしたこともあるだろうが、資生堂というブランドイメージの吸引力が非常に大きかった。

二度目の資生堂デザインフォーラムのきっかけは平成四(一九九二)年二月八日の深夜に訪れた。「ちよっと起きて見てごらん!」という家内の声に目覚めた時、時計は夜中の三時をさしていた。TVはアルペールビル冬期オリンピック開会式の模様を伝えていた。眠気はすぐにさめてしまった。奇抜なコスチュームにデフォルメされた身体表現、民族音楽にロックを交えた歴史と宇宙感覚が融合したような不思議な音楽、会場全体をサーカス小屋に見立てたダイナミックでスペクタクル性あふれる舞台演出はまるで気の利いたSF映画のようでもあった。デザインを少しかじったことのある人なら、その表現スタイルにロシア構成主義とパウハウスの影を見て取ったことだろう。現地からその感動を伝えるアナウンサーはフィリップ・ドゥクフレという名のまだ三十才にも満たない無名の若き演出家のプロフィールを紹介していたが、現地でも一般的な知名度は低くその素顔は神秘のベールに包まれていた。この開会式は世界の人々に感動を与えた。テレビに釘づけになっていた私の脳裏に彼を日本に呼ぼうという考えがヒラメいたのはその時だった。翌日すぐにそのアイデアを○○氏に伝えた。ドゥクフレとようやく連絡がとれたのは、それから一ヵ月後のことだった。アルゼンチンにいた彼の返事は来日してもよいというものだった。アルペールビルは感動さめやらない早い時期ほどいい。フォーラム開催日を半年後の九月に設定した私と○○氏は、ドゥクフレをパリに訪ねることにした。(次号へつづく)

掲示板

今月の人事

五月 八日付入社 営業部
NSハイテック
退社 営業部
五月十二日付退社
NSハイテック

定期検診について

六月一日から十六日の間に、定期健康診断を実施します。各自実施日を確認の上受診して下さい。尚、当日は朝食を摂らないようお願い致します。

社内清掃について

次の日程で、本社事務所内の床掃除を行ないますので宜しくお願い致します。当日休日出勤の予定がある場合は作業に支障がありますので、必ず総務部に連絡して下さい。

六月二十五日(日)

編集後記

▼「またしても 夏将軍が やって来る 今年の夏も 太っちゃうかも」 字余り。(ボクタ加藤)
▼「手作りパンに目覚めた友人。こ馳走になったらとても美味。私も梅雨時に家にこもって挑戦しようかな」 (サンデー武田)
▼「ゴールデンウィークの奥秩父の渓流ではクログミの鳴声は聞けなかった。だが、複雑な節回りで鳴くミソサイはよかった。ひきつぎクログミとオオルリの声に挑戦。」 (シャンプー西井)
▼「ようやくゆっくり見ることができると、芝居を。」 (ラフリー伊勢)

NTSニュース二〇〇〇年五月号(通巻二十三号)
二〇〇〇年五月二十五日発行